

令和5年第4回(6月)みなかみ町議会定例会会議録第3号

令和5年6月20日(火曜日)

議事日程 第3号

令和5年6月20日(火曜日)午前9時開議

- 日程第 1 請願第 2号 上毛高原駅駅名の早期変更を求める請願書
- 日程第 2 議案第 4 3号 令和5年度みなかみ町一般会計補正予算(第2号)について
議案第 4 4号 令和5年度みなかみ町下水道事業特別会計補正予算(第1号)について
議案第 4 5号 令和5年度みなかみ町水道事業会計補正予算(第1号)について
- 日程第 3 閉会中の継続審査・調査申出について
- 日程第 4 字句等の整理委任について
-

本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

出席議員（13人）

1番	河合史将君	2番	江口樹君
3番	石坂欣也君	4番	牧田直己君
5番	茂木法志君	6番	星野宗央君
7番	鈴木美香君	8番	阿部清君
9番	高橋視朗君	10番	高橋久美子君
12番	小林洋君	13番	高橋市郎君
14番	石坂武君		

欠席議員（1人）

11番 森 健治君

職務のため議場に出席した事務職員の職氏名

議会事務局長	原澤達也	書記	泉雪江
書記	桑原孝治		

説明のため出席した者

町長	阿部賢一君	教育長	田村義和君
総務課長	高野明夫君	財政課長	林市治君
企画課長	小池俊弘君	税務会計課長	高橋一夫君
町民福祉課次長	栗原和子君	子育て健康課長	入澤はるみ君
環境課長	原沢智章君	上下水道課長	鈴木伸史君
農林課長	原澤真治郎君	観光商工課長	鈴木和幸君
地域整備課長	林昇君	学校教育課長	河合博市君
生涯学習課長	丸山浩文君	水上支所長	萩原達也君
新治支所長	合沢衛君		

開 会

議 長（石坂 武君） おはようございます。

ただいまの出席議員は13名で定足数に達しておりますので、会議は成立いたしました。
なお、上着の着用については個人の判断にお任せしますが、発言時は必ず着用をしてください。

開 議

議 長（石坂 武君） これより本日の会議を開きます。

本日の会議は、お手元に配付いたしました議事日程第3号のとおりであります。
議事日程第3号により、議事を進めます。

日程第1 請願第2号 上毛高原駅駅名の早期変更を求める請願書

議 長（石坂 武君） 日程第1、請願第2号、上毛高原駅駅名の早期変更を求める請願書を議題といたします。

所管の委員長の審査結果報告を求めます。

総務文教厚生常任委員会委員長牧田直己君。

（総務文教厚生常任委員長 牧田直己君登壇）

総務文教厚生常任委員長（牧田直己君） それでは、総務文教厚生常任委員会に付託されました請願第2号、上毛高原駅駅名の早期変更を求める請願書について、審査の経過と結果についてご報告申し上げます。

まず、当日の委員会において、委員1名が体調不良のため欠席、紹介議員4名のうち2名は当委員会に属していないため、紹介議員として出席を求め、委員会に入りました。

その後、請願に対して担当課より説明があった後、直ちに質疑に入りました。

各委員からは、駅周辺整備計画と駅名変更については並行して進めていくのかという質問に対し、駅名変更と駅前開発は同時に進めていくことが必要、駅前周辺開発については今年度調査を行う予定と回答があった。その調査内容についてはどの問いに、まだ具体的ではないが、地権者を含む地域の方へアンケートを検討、また、町単独での開発は厳しいため、民間事業者の参入についても探っていくべきと回答があった。

JR側から金額が提示された後、お金の捻出についての考え方について問われ、経費について正式な数字がない状態で周辺自治体の同意を得ることは難しい。JRから額を提示していただき、どういう取組をしていくのか検討していく。経費について、クラウドファンディングや企業版ふるさと納税等を検討すると理解してよいかとの問いに、令和3年10月22日から4回行われたまちづくり構想策定委員会の答申の中で、クラウドファンデ

イングにも触れられており、金額に対して可能かどうか検討していくとの回答があった。

ほかの自治体との話し合いはどこまで進んでいるのかとの質問には、ほかの自治体とは意見交換をしたという段階であり、今後金額が提示されてから費用負担をどうするかを見定めて、正式な議論の場を設けるべきと考えていると回答があった。

町民が本当に駅名を変えたがっているのか、ほかの自治体を含め一緒に考えていく必要があるのではとの問いに、JRは広域的な同意が必要とっており、町単独ではなく、同意はしっかりと求めなければいけないと考えていると回答。上毛高原駅という名前を否定する声はあるかとの問いに、否定する意見は耳に入っていないと回答がありました。

ここからは、紹介議員への質問について一部ご報告を申し上げます。

今回の請願の「早期」とはの問いに、紹介議員として出席した小林議員は、期日はない、北陸新幹線延伸に間に合わないことは承知しているとの回答があった。文面に、「町長からは、大きな課題はなく進んでいるが」と書かれているが、今の町長を指すのか、それとも前町長を指すのかとの問いに、小林議員は、請願者代表の久保さんから聞いたところによると前町長の発言と回答があった。

紹介議員に名を連ねた経緯について聞かれ、まず石坂欣也議員は、議員就任前に署名運動に取り組んできたと回答。その際、記入者に対する説明の中で費用の話はしたのかとの問いについては、数億円かかるのではと説明してきたと回答がありました。小林議員においては、上毛高原駅がみなかみ町にあることが他地域から認識されにくく、駅前開発に企業が参入することを考えたとき、駅名と町が合致しないとイメージしづらく、早期に動き出していきたいとの思いから紹介議員になったと話がありました。

請願者に水上地区の区長さんが多いが、月夜野地区や新治地区の区長さんからの賛同はの問いに、小林議員は、水上地区区長会及び観光関係者の悲願と言える。全地区が集まる機会がなく、時間的な問題で水上地区の区長さんが多くなったと回答がありました。また、請願の文中にみなかみを含めた名称の記述はない理由について問われ、小林議員は、プロジェクトを早急に動かしてほしいという請願であるとの回答があった。

以上で質疑を終結し、各委員から意見を求めたところ、駅名変更が実現されることはいいこと。今回の請願は、駅名変更実現に向けて努力するという請願である。お金の問題やほかの自治体との合意形成を取るにも具体的な話が必要。努力するというので、採択は妥当である。駅名を変えること自体が必要ないと思っているので不採択。町民から多くの声をいただき、駅名変更は今さら感がある。駅は観光地までの通過点であり、先にやることがあると思うので不採択が妥当である。このままいくと、高齢者や子供たちにお金が回らない。未来のため、子供たちのため、観光、農業、人口減対策のために取り組むべき。目先のことではなく将来のことを考えて、採択が妥当である。過去に同趣旨の内容の全会一致採択がされたことは重要視されることが必要である。駅名変更によりかかる金額が決まっていらないのに変更するのかという声も一部あるが、それら金額が決まらなないと、本当にできるのかできないかという内容の議論もできない。今はテーブルの上に載る前の段階であり、議論を深めるためにも採択でよいと思う。

以上で全出席委員より意見聴取が終了したため、採択に対する討論に入ったところ、反

対討論として、採択により駅名変更ありきの動きになる。先にやるべきことはあるとの発言があり、賛成討論として、駅名変更に東京圏から人を呼ぶこと、町の20年、30年を考えて採択に賛成との発言があり、討論を終結。

採決の結果、請願第2号、上毛高原駅駅名の早期変更を求める請願書については、賛成多数により採択すべきものと決定されました。

以上、委員長報告といたします。

議長（石坂 武君） 委員長の審査結果報告が終了しましたので、これより質疑に入ります。

請願第2号について、質疑はありませんか。

13番高橋市郎君。

13番（高橋市郎君） ただいまの委員長の委員会での審査経過の報告を聞きました。

その中で私気になったのは、いわゆるこの請願趣旨の中ほどにある「町長からは、大きな課題はなく進んでいる」ということの説明の中に、前町長の発言であると。請願人の久保氏からの話だということであるけれども、私、実は紹介議員になってくれと久保氏から要請があったんです。丁重にお断りしたんですけども、この文面を見てもいないし聞いてもいない段階だったのでお断りした。この文章を全協のときに、議案書が配付されたときに見て、ああ、紹介議員にならなくてよかったなと思った。

ということはどういうことかということ、前町長が発言したというのはここに書いてないわけだ。あくまでも町長の発言。これ提出されたのは今年の5月23日。阿部町長が就任してから6か月経過をしている、そういう中で、前町長の発言を引用した文章で提出してくるということに対して、私は理解できないというのが現状の今の話です。

この文章だけを見たときに、阿部町長はその場その場で人当たりのいい発言をしているのではないかというふうを受け取られがちで、受け取られますよ、これ。なぜ委員会のごときに、それと、初日の12日の本議会初日に、一般質問でこれに関する一般質問もあった。そのときに阿部町長はきっちり、広域における課題としては予算の関係もあるだろうし、広域の合意形成をしなければならない、これには相当の時間を要するであろうという答弁があった。真逆なことだ。であったならば、これ前町長とあるんならいいんですよ、この文章に。町長ですよ。今の町長が発言したというふうにも受け取りますよ、これ。町長の権威を失い、信頼を損なうようなことになりかねないことを、委員会でもう少し突っ込んで、町長の出席を求めて、意見を聴取するなりすることは、委員会としてすべきじゃないかなと。私も傍聴して聞いていましたけれども、なぜこれ前町長の発言ということで委員会が収まるのかなと、非常に理解に苦しんだというのが現状ですけども、それがどういふことの判断でそういうふうになされ、今の委員長報告の中に、前町長だというふうにも久保氏から聞いたというようなことですけども、あくまでも請願趣旨と請願事項、この文章に基づいて判断をするのが議会としてのあるべき姿だというふうにも思うんですけども、その点はいかがですか。

議長（石坂 武君） 委員長。

（総務文教厚生常任委員長 牧田直己君登壇）

総務文教厚生常任委員長（牧田直己君） 高橋市郎議員のご質問にお答えさせていただきます。

委員会としての立場としては、委員会の進め方の姿勢についてご発言があったと思います。ただ、委員会の中では、今この場でお答えできることとしては、委員会の中でどういった話が事実としてあるのかということに対してお答えできるというふうに認識しておりますので、その辺ご了承くださいませと思います。

議長（石坂 武君） ほかにありませんか。

13番高橋市郎君。

13番（高橋市郎君） 委員会でそういう議論がなかったということにおいて、委員長は発言できないというのは私も理解できます。ここに町長がいるんだから、町長一体どういうんだやって聞きたいぐらいです、私も。そのルールの中においてそういうことはできないというのは百も承知だ。であるならば、議会として今日判断をしなければならぬというふうにあるわけだ。委員会でも賛成多数だった、反対もあったということだとは、今の報告のとおり。

だったのならば、今の現状どういうふうに進んでいるか。課題はなく進んでいるって、これはあくまでも現状を捉えていないわけですよ。課題はあるんだ、いっぱい。ということだと思えますよ。その辺の認識が、私はいかがなものかなというふうに思うわけ。課題がなくということの意味合いに対して、委員会は、予算の問題、相手方のある交渉事ですよ、これは。あくまでも民間会社JR東日本に対しての交渉、それを進めるに当たって、先ほど委員長の報告の中にも、いわゆる地域内の合意形成が必要だという旨の委員会の中でもあった。そういうことになると、この「課題がなく進んでいる」ということと当局とのギャップが生じるわけですよ。それをもう少し、本来なら突っ込んで議論をすべきじゃなかったかなと思いますけれども、その点いかがですか。

議長（石坂 武君） 委員長。

（総務文教厚生常任委員長 牧田直己君登壇）

総務文教厚生常任委員長（牧田直己君） その辺を突っ込んで議論すべきというお話だったんですけども、冒頭から申し上げているとおり、やっぱりこの場で話ができる部分としては、この委員会の経過についてのお話と認識しております。また、高橋議員の最初のご質問の中で、町長から大きな課題はなく進んでいるがというお話あったんですけども、あくまでこれは前段の経過説明というふうな認識で委員会では進んでいたというふうに認識しております。

以上です。

議長（石坂 武君） ほかにありませんか。

（「なし」の声あり）

議長（石坂 武君） ありませんので、これにて請願第2号の質疑を終結いたします。

これより請願第2号について討論に入ります。

本請願に対する委員長報告は、採択すべきものであります。

まず、反対討論の発言を許します。

7番鈴木美香君。

（7番 鈴木美香君登壇）

7 番（鈴木美香君） 7番鈴木美香。

請願第2号、上毛高原駅駅名の早期変更を求める請願書につきまして、反対の立場で意見を述べさせていただきます。

今回の請願は、請願書名が駅名の早期変更を求めるもので、趣旨として、1つ目、JRをはじめとした関係機関との早期の協議の再開をすることと、2つ目に、駅名変更実現への努力となっています。

まず1つ目、果たして協議は中断しているということなののでしょうか。なされていないのでしょうか。先日行われた委員会では、担当課からは、令和4年度以降でも、2月関係会議からの答申を町は受け、JR東日本高崎支社に出向いています。3月には山本知事、5月に地元出身の代議士に報告、6月20日は関係団体と戦略的な打合せ会議を行っております。8月、周辺自治体の首長への署名活動、9月にはJR高崎支社に報告と同時に、JR東日本本社へつないでいただくことと、具体的な手法と手続などの教示を受けています。

10月の阿部新町長の体制になって、方向性として、撤回するつもりはない、将来的にはあってもよいと、新聞報道と一般質問でお答えになっております。あわせて、財政的な負担の問題、地域周辺自治体等の合意形成が必要であり、時間がかかるという答弁でした。

今年に入って2月には、JR高崎支社にて、駅名変更する場合の打合せの中で、費用算出が重要であるという依頼を行っております。そこでも、JR側が示している、商業圏である渋川・吾妻地域を含めた利根沼田周辺地域、周辺自治体との合意が必要とされ、3月には現状報告を首長の集まりの折にしたと聞いています。先月5月には沼田市にて、市長をはじめ関係各部長に経過説明と意見交換をした際に、時間がかかるのではとの意見を受けたと、先日の委員会で報告されました。そして6月1日には、JR東日本高崎支社の担当者にご来庁いただき、これまでの経過を話した上で、周辺自治体との話をしていく中で、住民の合意を得ていくためには、費用対効果や経済効果の説明も必ず必要になってくるということで、再度JR側に、地域の同意・賛同を得るためにも、費用算出が必要だをお願いしているとのこと。JR側も、それが可能か、どこまで提供できるものか、提供する数字をどこまで公表してよいのか検討していただいているという状況とのことで、現在、話は粛々と、協議は進んでおります。町としても、調査に対して今年度予算化しております。中断、止まっているわけではなく、確実に丁寧に事を運んでいる状態です。

請願趣旨の一つ、駅の位置をイメージしやすくという趣旨は分かりますが、名前が変わっても変わらなくても、みなかみにあるという事実は変わりません。駅がどのような目的で使われているのか考えると、委員会で話したとおり、観光客や来町した方にとって、目的地に行くための通過点です。駅からのアクセス、二次交通の課題解消、周辺整備なくしての駅名変更先行は、むしろイメージダウンにつながりかねないか心配するところです。

改名の前に、まだまだやるべきことがあるはず。上越線との兼ね合い、利根沼田はもとより、群馬県2つのうちの1つの新幹線駅は、町だけのものではありません。今後、リトリート、グリーンツーリズムを推進する中で、群馬県北部の自然豊かな土地をイメージする上毛高原駅をもっとしっかりPRする必要があります。

今回の請願の2つ目としては、駅名変更実現に向けての努力ということで、あくまで駅名変更を求める請願になります。そもそも町民の意向調査が行われていない時点で、駅名変更ありきに議会が採択するという表明をするのは危険だと思います。令和2年12月定例会で、町の発展につながるものと採択した請願について、様々なお声や課題が浮き彫りになりました。それを受け、今回の請願は慎重にならざるを得ません。

上毛新聞による駅名変更のアンケートは、約6割が変えなくてよいと答えております。40年慣れ親しんだ上毛高原駅を悪く言う方はいません。駅名変更が多額の町負担の費用がかかることを説明されずに署名してしまったという方もいます。正式の駅名であるにもかかわらず、仮称だからと間違った情報を基に署名した方もいます。上毛高原駅を核としたまちづくり構想策定委員会の議事録によると、署名のうち2,000名は前橋市民であるとのこと。またほかに、観光客などからの署名も多く、決して町民の総意ではありません。そのような状況で今、改名ありきで議会として表明すべきなのでしょうか。変えなくてもいい、どちらでもよい、今でなくてもよいという町民の声を誰が代弁すべきなのか考えてください。もちろん、正しい情報とトップダウンではない地域住民個々の総意があれば、みなかみ町のため、町民のため、周辺自治体の納得を得るための努力を私たちは惜しみません。しかしながら、駅名を変えなくてもよいと考える大勢の方がいる現実を目を背けないでいただきたいのです。

今必要なのは、町民の皆様きちんとした判断をしていただくために、現状話合いは行われていること、町は動いていること、変えなくてよいと考える方も多いという事実をお伝えすること、そして、費用負担は町の財源を使う可能性も大きいことなど、お伝えしなくてはいけないことだと思います。それをせず、費用負担、周辺開発など、課題解決の道筋を立てられない状況で、先述したように、現在町が関係機関と粛々と動いている中、さらなる早期の協議再開を求めていること、実情の町民意識を反映しているとは言い切れない、駅名変更ありきとする努力を求めているこの請願には、現時点で採択するのは難しいと考えます。

みなかみ町が将来にわたり発展、住みよいまちになることを願う気持ちは皆様と同じです。気運の醸成にしっかりと時間をかけ、町民の総意と周辺自治体の合意形成に丁寧に取り組むべきだと考えます。今は来町される方がイメージしやすいという目線ではなく、在住する町民の皆様のご生活目線に立った中で、本請願については不採択すべきと判断いたしました。議員各位におかれましてもご賛同をお願いいたしまして、反対討論とさせていただきます。

議長（石坂 武君） 次に、賛成討論の発言を許します。

12番小林君。

（12番 小林 洋君登壇）

12番（小林 洋君） 12番小林洋。

請願第2号、上毛高原駅駅名の早期変更を求める請願書について、採択に賛成の立場から討論を行います。

この請願は、令和2年11月17日に提出された上越新幹線駅名に関する請願が、同1

2月定例会において全会一致で採択された後、町はJR東日本への要望等、既に動き出しているとの認識の下、新たなものでなく既存のプロジェクトについて、JR東日本及び周辺市町村との関係機関との間でなるべく早期に協議を再開し、駅名変更実現に向けた努力を求めるものです。

上毛高原駅が当地域にあることを他の地域の人から認識されにくく、駅前開発に企業が参入することも考えたとき、駅名と地域名が合致していないためイメージしづらく、駅名と地名が連動する必要性は高く、なるべく早期に取り組む必要があると考えております。

また、駅名が変わることでブランド力も上がり、観光産業、農業振興等、町の主要産業も活性化の一助になると考え、また、みなかみ町の町民の郷土愛の育成にも大きく寄与してくれることと期待しております。

目先のことでなく、20年、30年後のみなかみ町を見据え、将来に希望を持たせ、持続可能なまちづくりを行うために、駅名変更に努めることは大変重要なことであり、以上の理由から、本請願に賛成するものであります。議員各位の同意をお願いいたしまして、賛成討論とさせていただきます。

議長（石坂 武君） 次に、反対討論の発言を許します。

6番星野君。

（6番 星野宗央君登壇）

6番（星野宗央君） 6番星野宗央です。

請願第2号、上毛高原駅駅名の早期変更を求める請願書に対しまして、反対の立場で討論を行います。

上毛高原駅は、新幹線の駅として既に40年以上が経過しております。まちの内外に十分周知をされており、駅名変更については、利根沼田のほかの自治体などとも協議を進める必要があります。駅名変更の必要性なども含めて話し合いが必要ではないでしょうか。駅名を変更することのメリットやデメリットについても考える必要があります。

重ねて、みなかみ町単独での駅名変更にはかなり無理があるように思われます。駅名の変更ということですが、そもそも私は、この上毛高原駅という名前にもなじみがあります。すぐに変更が必要だとは思いません。駅名の変更自体にも反対でございます。

以上のことから、今回の請願には反対の立場で討論させていただきました。

議長（石坂 武君） 次に、賛成討論の発言を許します。

（「なし」の声あり）

議長（石坂 武君） ほかにありませんか。

（「なし」の声あり）

議長（石坂 武君） ありませんので、これにて請願第2号の討論を終結いたします。

請願第2号、上毛高原駅駅名の早期変更を求める請願書を、起立により採決いたします。

本請願に対する委員長の報告は、採択すべきものであります。

本請願は、委員長の報告のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

議長（石坂 武君） 賛成多数であります。

よって、請願第2号、上毛高原駅駅名の早期変更を求める請願書は、委員長の報告のとおり採択することに決定されました。

- 日程第2 議案第43号 令和5年度みなかみ町一般会計補正予算（第2号）について
議案第44号 令和5年度みなかみ町下水道事業特別会計補正予算（第1号）について
議案第45号 令和5年度みなかみ町水道事業会計補正予算（第1号）について

議長（石坂 武君） 日程第2、議案第43号、令和5年度みなかみ町一般会計補正予算（第2号）についてから議案第45号、令和5年度みなかみ町水道事業会計補正予算（第1号）についてまでの以上3件を一括議題といたします。

本案につきましては、過日の本会議において提案理由の説明が終了しておりますので、直ちに質疑に入ります。

議案第43号について質疑はありませんか。

5番茂木君。

- 5番（茂木法志君） 7ページのこどもの居場所支援事業なのですが、こちらの事業内容等をもう一度教えていただけますか。

議長（石坂 武君） 子育て健康課長。

（子育て健康課長 入澤はるみ君登壇）

子育て健康課長（入澤はるみ君） 茂木議員の質問にお答えいたします。

県は、2025年までに、全35市町村にこどもの居場所の設置を進めております。

この間、町は先行して、増加傾向にある不登校や引きこもりのこどもたちの環境を変えるための新たな支援策として、こどもの居場所の整備を進めてまいりました。

今回、補助金等のめども立ったことから、補正に計上をさせていただきました。

以上です。

議長（石坂 武君） ほかにありませんか。

5番茂木君。

- 5番（茂木法志君） 続けてなんですけれども、そういうことは、今現状、リエントリールームとあるかと思うんですけれども、そのあたりの違いとか、もしくはリエントリールームをもっと、今のこの居場所の支援事業の中に入れていくのか、そういったところの方向性というのは教えていただけますか。

議長（石坂 武君） 子育て健康課長。

（子育て健康課長 入澤はるみ君登壇）

子育て健康課長（入澤はるみ君） 茂木議員の質問にお答えいたします。

リエントリールームとの違いは、リエントリールームはそこに出席することによって、授業日数に換算がされます。ただ、今回の居場所につきましては、特にそこまで大きなものではないので、ただ家から、引きこもってしまった、その子たちを出してあげる、安全に学校以外で行ける場所をつくってあげるということを目的としております。また、そこ

が充実していった際には、リエントリールームのように授業日数に換算できるような施設になっていければと考えております。

以上です。

議長（石坂 武君） ほかにありませんか。

10番高橋久美子君。

10番（高橋久美子君） すみません、先ほどの関連なんですけれども、今回は県・国から補助金という形で出ているわけなんですけれども、今後うちの町として、継続性という部分のところではどのようにお考えでしょうか。

議長（石坂 武君） 子育て健康課長。

（子育て健康課長 入澤はるみ君登壇）

子育て健康課長（入澤はるみ君） 高橋議員の質問にお答えします。

これは、こども庁が発足をいたしまして、その中で補助金が決定しております。こちらを継続して続けていく予定であります。

以上です。

議長（石坂 武君） ほかにありませんか。

10番高橋久美子君。

10番（高橋久美子君） 6ページの地域づくり費のところ、ユネスコエコパーク推進事業ということで予算が計上されているわけなんですけれども、この中で、事業の説明と、あと委託先と、それから自然林再生事業補助金ということでお金が計上されているんですけれども、このところの自然林再生事業のところは、委託を受けたところがやるのかどうか。その辺の説明をちょっと細かくお願いしたいんですけれども。

議長（石坂 武君） 企画課長。

（企画課長 小池俊弘君登壇）

企画課長（小池俊弘君） 高橋議員の質問にお答えいたします。

ユネスコエコパーク推進事業ということなんですけれども、ここにあります生物多様性保全推進事業補助金に関しましては、今までやってきましたシカの対策にやってきたものを、今回、三菱地所と自然保護協会、町が提携した三者協定に基づきまして拡充する事業になっております。

それと、ネイチャーポジティブのほうの中にあります自然林再生事業に関しましては、これは人工林を自然林に再生していく事業になります。ここに関しましては、一応補助金という形で、事業に対して補助を出す予定です。

それから、先ほどの補助金の事業者に関しましては、OECM協議会というのがあります。そちらが現状もシカの調査とか行っております。それに対して、拡充という形で補助を出す予定になっております。

以上です。

議長（石坂 武君） ほかにありませんか。

（「なし」の声あり）

議長（石坂 武君） ありませんので、これにて議案第43号の質疑を終結いたします。

次に、議案第44号について質疑はありませんか。

(「なし」の声あり)

議長(石坂 武君) ありませんので、これにて議案第44号の質疑を終結いたします。

これより質疑に入ります。

議案第45号について質疑はありませんか。

(「なし」の声あり)

議長(石坂 武君) ありませんので、これにて議案第45号の質疑を終結いたします。

これより、議案第43号について討論に入ります。

まず、反対討論の発言を許します。

(「なし」の声あり)

議長(石坂 武君) 次に、賛成討論の発言を許します。

(「なし」の声あり)

議長(石坂 武君) ありませんので、これにて議案第43号の討論を終結いたします。

議案第43号、令和5年度みなかみ町一般会計補正予算(第2号)についてを採決いたします。

本案は原案のとおり決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

議長(石坂 武君) ご異議なしと認めます。

よって、議案第43号、令和5年度みなかみ町一般会計補正予算(第2号)については原案のとおり可決されました。

これより、議案第44号について討論に入ります。

まず、反対討論の発言を許します。

(「なし」の声あり)

議長(石坂 武君) 次に、賛成討論の発言を許します。

(「なし」の声あり)

議長(石坂 武君) ありませんので、これにて議案第44号の討論を終結いたします。

議案第44号、令和5年度みなかみ町下水道事業特別会計補正予算(第1号)についてを採決いたします。

本案は原案のとおり決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

議長(石坂 武君) ご異議なしと認めます。

よって、議案第44号、令和5年度みなかみ町下水道事業特別会計補正予算(第1号)については原案のとおり可決されました。

これより、議案第45号について討論に入ります。

まず、反対討論の発言を許します。

(「なし」の声あり)

議長(石坂 武君) 次に、賛成討論の発言を許します。

(「なし」の声あり)

議長（石坂 武君） ありませんので、これにて議案第45号の討論を終結いたします。

議案第45号、令和5年度みなかみ町水道事業会計補正予算（第1号）についてを採決いたします。

本案は原案のとおり決することにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（石坂 武君） ご異議なしと認めます。

よって、議案第45号、令和5年度みなかみ町水道事業会計補正予算（第1号）については原案のとおり可決されました。

日程第3 閉会中の継続審査・調査申出について

議長（石坂 武君） 日程第3、閉会中の継続審査・調査申出についてを議題といたします。

各委員会委員長より、各委員会において審査・調査中の事件につき、会議規則第75条の規定により、お手元に配付いたしました申出書のとおり、閉会中の継続審査・調査の申出があります。

お諮りいたします。

各委員会委員長より申出のとおり、閉会中の継続審査・調査に付することにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（石坂 武君） ご異議なしと認めます。

よって、申出のとおり閉会中の継続審査・調査に付することに決定いたしました。

日程第4 字句等の整理委任について

議長（石坂 武君） 日程第4、字句等の整理委任についてを議題といたします。

お諮りいたします。

本議会で議決された案件について、その字句等の整理を要するものについては、会議規則第45条の規定により、その整理を議長に委任されたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（石坂 武君） ご異議なしと認めます。

よって、そのとおりに決定いたしました。

議長（石坂 武君） 以上で、本定例会に付議された案件の審議は全て終了いたしました。

町長閉会挨拶

議長（石坂 武君） 閉会に当たり、町長より挨拶の申出がありましたので、これを許可いたします。

町長阿部賢一君。

（町長 阿部賢一君登壇）

町長（阿部賢一君） 議長のお許しをいただきましたので、閉会に当たり一言ご挨拶を申し上げます。

谷川岳の残雪も少しずつ小さくなり、初夏を思わせる暑さの日も増えてまいりました。ここ奥利根地域にも、夏の風情が漂い始めています。

令和5年6月定例会は、6月12日の開会から本日まで9日間にわたり慎重にご審議を賜り、提案申し上げました全ての案件に対し原案のとおりご決定を賜り、誠にありがとうございました。本会議中も、積極的なご議論をいただきました。ご指摘いただいた中で、早急に着手できるものは着手し、検討を要するもの、時間を必要とするものについても、少しずつ検討を開始していきたいと考えております。

休会中においても、各般のご相談を申し上げたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

日を空けず、台南市よりご招待をいただいておりますマンゴー祭りに、議長並びに産業観光生活環境常任委員長とともに参加してまいります。この機会に親交を深め、交流の促進に努めてまいります。

また、交通の安全と円滑化を図るため、関係機関へ要望してありました都市計画道路悪戸矢瀬線と、県道後閑羽場線交差点の信号機につきましては、公安委員会で協議され、設置の内定をいただきましたことをご報告申し上げます。

議員の皆様におかれましては、町の関連行事への参加や町政の調査研究など、ご多忙の日々を過ごされることと存じます。くれぐれも健康にご留意いただき、今後とも町政発展のためにご活躍いただきますようお願い申し上げます。閉会に当たっての挨拶にさせていただきます。大変ありがとうございました。

議長閉会挨拶

議長（石坂 武君） 閉会に当たりまして、私からも一言ご挨拶を申し上げます。

会期中は常に熱心な審議をしていただくとともに、各委員会におきましても慎重審議に努めていただきました。結果、今期定例会において予定されました案件全てを議了していただき、ただいまをもって無事閉会の運びとなりました。

初夏を迎え、各位におかれましては体調管理に十分留意され、議員活動を行っていただきたいと思っております。

むすびに、議員各位並びに町長をはじめ当局の皆様にご感謝を申し上げ、閉会の挨拶とい

たします。

閉 会

議 長（石坂 武君） これにて、令和5年第4回（6月）みなかみ町議会定例会を閉会いたします。
大変ご苦労さまでした。

（9時45分 閉会）

地方自治法第123条第2項の規定によりここに署名する。

令和5年6月20日

みなかみ町議会議長 石 坂 武

署名議員 7番 鈴木 美 香

署名議員 8番 阿 部 清